



関わりの修復がもたらす平和を!

うっとうしくも草木の成長に欠かせない雨を頂き、自然界も夏の暑さに備え始めたようです。

カリタス友の会の会員の皆様、また友の会をご支援くださり、ご協力くださっている皆様、いかにお過ごしでしょうか。

この度、長年間コーディネーターとして事務局の皆様と精力的にお働きくださったシスター峯から任務を引き継ぎましたシスター浜崎と申します。3月末の初めての事務局の方々との会議では緊張しながらも、お集まりくださった方々の温かい人柄と、できるだけたくさんの支援を届けたいという強い思いに触れ、微力ながらこれから一緒に活動させていただいて、様々な学びをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は行動制限も解け、職場、学校、地域社会で動きが出てきましたが、ここ3年間はコロナ禍の影響で、在宅、遠隔、隔離などの状況となり、人との関わりが薄くなってしまった感があります。オンライン利用によって新たな道が開けたこともあります。対面での関わり大切さ、ありがたさも再認識しました。また生きる力の基がなんであるか、個人的に考えさせられた時もありました。



平和を実現する人々は、幸いである。
マタイによる福音 5:9

最近あるフィリピンの友人に、金継ぎについて尋ねられたことがありました。陶磁器のひび割れ、欠けたところを、金粉を混ぜたもので繋いで修復する特別な技能であると、簡単に答えました。(詳しいことを知らないなので、文字のまま) その方は、壊れたら処分されるものを、割れた部

分、壊れた部分、不完全な部分を隠さずむしろそのままにして修復し、そこに価値を持たせ、美しいものとしていることが素晴らしい、と言われました。完璧なものが美しい、傷のないものが良い、という思考になりがちな毎日ですが、むしろ不完全、割れを持っている方がより固有性があり、自然で、神様の創造された形に近いのかもしれないと思うようになりました。そして、壊れたと諦めて捨てるのではなく、修復することを第一のオプションとして、神様との関係、人との関係、環境との関係、モノとの関係を豊かに生きることができそうな気がしています。

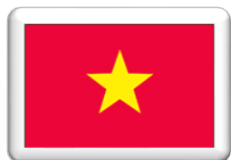
コロナ禍でなくても、様々な理由、環境によって壊れてしまった関係を修復する金継ぎの素材のような役割になれば、また修復して継ぎだらけとなっても、そこにある割れと修復の歴史、思い出が、人が生きていく力となるなら、そのままを大切に肯定的に受け止めていきたいと思えます。

友の会の活動がこれからも世界で助けを必要としている人々への支援の輪を広げ、壊れた社会、環境、関わりの修復を支える神様の道具として成長していきますように。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆さまの上に神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

友の会コーディネーター シスター浜崎昌子





ベトナムより



イエスのカリタス友の会の皆様

ベトナムより感謝のご挨拶を送ります。

2023年3月24日にイエスのカリタス友の会より、ベトナムのGiang Lam 共同体で始めようとしている幼稚園開設のための援助金をいただきました。心より感謝申し上げます。

イエスのカリタス修道女会日本管区は、2000年頃から、日本の他の修道会と共にベトナムを度々訪問し、私たちと共に貧しい人々のために積極的に喜んで奉仕する召命者を求めて若い女性たちと関わり、彼女らの召命の識別を助けるようになりました。彼女らの中から数人がカリタス会への入会を希望し、日本に来て言語を学んだ後、志願者・修練者として養成を受け誓願を宣立し、現在ベトナムの会員は15名、修練者・志願者は6名になりました。2009年まで、カリタス会の活動拠点はベトナムにありませんでしたが、2010年4月にベトナムに会員を派遣し活動を開始しました。2017年に Xuan Loc 教区 Giang Lam 教会の主任司祭 Truc 神父様より「貧しいこの地域で幼児教育をして欲しい」という要望で招かれ、会員の幼稚園免許の取得など準備に取り掛かり、2019年から Giang Lam 教会の教会活動を手伝いながら、幼稚園開設の準備を進めていました。共産圏のベトナムでの修道会の活動は規制が多く、幼稚園開設の計画は難航していましたが、この度、「既存の共同体の1室で子どもたちを

預かる家庭内幼稚園を始めたかどうか」との行政からの助言を受け、2~3歳児の5名から10名の子供たちを教育する家庭内幼稚園を開始するために具体的な準備を始めました。

ベトナムで小さく貧しく、苦しむ人々のために、特に貧しい家庭の子供たちのために働きたいという望みがやっと実現しようとしています。幼稚園開設の申請を行うためには、必要な備品が整っていることが条件になっています。このような私たちの望みを寛大にご理解くださったイエスのカリタス友の会の皆さまから援助金を頂き、必要な備品（机・椅子・ベッド・食器・食器棚・水の機械など）を購入させていただきました。幼稚園は“ひまわり幼稚園”として申請中ですが、今ベトナムでは年度が終わり夏休みに入りましたので、幼稚園を卒園して小学校に上がる地域の子供たちのために識字教育を始めました。小さな歩みを始めた私たちですが、イエスのカリタス友の会の皆さまには、これからも私たちの活動を支え、導き、助けていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。私たちも、イエスのカリタス友の会のみな様のために感謝のお祈りをお捧げいたします。

イエスのカリタス修道女会ベトナム共同体

代表 シスターマリア・コンチェッタ山田睦美

ジャンラム共同体

代表シスターマルガリタマリア グエン ティ ラン



食器棚・食器・机・椅子・ベッド・水洗浄機



子どもたちと共に



ブラジルより



ブラジル ラール・サント・アントニオユースセンター
養護施設の食費不足分の支援申請

申請額 ユースセンター150名分 2,400ドル ・ 養護施設7名分 1,200ドル

この申請は受け入れられ、全額の支援を頂きましたことをご報告申し上げます。

イエスのカリタス友の会の皆様
皆様におかれましては、神様のご保護のもとお元気
にご活躍のことと思います。また、日頃からのお祈
り、外国宣教支援へのご尽力を心から感謝しており
ます。

ユースセンターでは6歳から15歳までの子ども
たちが、午前または午後の時間をこのユースセンタ
ーで過ごします。ブラジルの学校は半日制で、授業
がない時間、子どもたちは安全で教育を受ける場所
が必要です。ユースセンターの活動として、コンピ
ューターの基礎情報処理、スポーツ、絵画、手芸品
作り、英会話などがあります。子どもたちはグル
ープに分かれてそれぞれの活動を行います。復活祭の
頃には、イースターの卵探しやビデオ鑑賞などいつ
も違った活動を楽しみました。また、今年はボラ
ンティアの人数も増えてより充実したプログラム
を子どもたちに提供することができています。

養護施設は定員数20名ですが、現在7名の子ども
たちが入所しています。入所理由は様々ですが、
ネグレクト、虐待、育児放棄などです。保護者の養
育力不足のために入所することが多いようです。

私たちの事業所は市からの補助金で成り立って
いますが、物価の上昇により、困難な現状がありま
す。補助金のほとんどは人件費で消費され、教材費、
食費に使える金額には限りがあります。また最近ま
で、支援をいただいていた団体からは寄付金を半減
する、という報告を受けました。この寄付金で、食
料品を購入していたのでさらに状況が悪化しまし
た。

奨学金を受けてカリタス学園で勉強している学
生たちは、新型コロナウイルス感染症のパンデミック
の影響も重なり、更なる困難と経済危機に直面し
ております。それは暴力やインフラの不安定さ、さ
らにはスラム街の増加などの問題を抱えた貧しい
地域に住んでいるからです。それでも多くの家庭は、
質の高い教育を通して生活を向上させたいと考
えています。私たちは、教職員と共に日々の関わりを
通して家族を支援し、より良い未来を切望し、社会
を変える主体になりたいと願う家族を支援したい
と考えています。

パンデミック以来、ブラジルの状況は依然として
非常に困難な状況にあり、現時点での最善の投資は、
困難な状況に直面しても質の高い教育を提供する
ことであると私たちは信じています。子どもたちが
生きる力を身につけて成長していけるように関わ
っていきたいと思います。そして、より良い未来を
望む多くの家族、人々を助けるというカリタスの使
命と神への信頼をもってこの事業を継続して参り
たいと思います。

日本で活動しているカリタス会のシスター達を
通してブラジルの私たちの活動を支えてくださ
っていることに心から感謝し、皆様のご健康とご家族
のためにお祈りさせていただきます。そして頂いた
ご寄付を大切にに使わせていただくことによって皆
様のお気持ちに添えていきたいと思っております。
皆様からのご支援、ご寄付に心より感謝申し上げ
ます。ありがとうございます。

サンマテウス校 校長 シスターベルナデッテ中川
ユースセンター・養護施設

施設長シスターマリア黒崎幸代



オラトリオに参加するスラム街の子どもたち



イースターチョコレートの配布



子どもたちとボランティアの方々と共に



食糧支援



ボリビアより



「イエスの聖心に倣い、わたしたちの心をよりいっ
くしみ深く」(教皇フランシスコの言葉)

イエスのカリタス友の会の皆様へ

ボリビア国、肌寒いサンタクルスからご挨拶申し上げます。高地、高原、渓谷地、平地と様々な地形を呈し地域によって気候が大きく異なるボリビア国の中のサンタクルス市は、日本のように四季がはっきりしておらず、また標高 400m 位の高原地帯とあって夏季は 35 度前後まで気温が上がり、短い冬季には 5 月から 7 月くらいまで Sur (スル・南という意味) と呼ばれる南からの寒気が何度か繰り返してきます。この時季は一夜にして一気に気温が 15 度くらい下がり、数日間寒さが続き身に沁みる季節にあたります。

さてオガールファティマ乳児院では 6 月現在、0 ~5 歳までの子供たち 47 名が笑いあり、涙あり、騒動ありで楽しく、賑やかに暮らしています。今夏季は気温が 40 度まで上がったうえに、1 月には Dengue 熱 (蚊を媒介とする感染症) まで流行し、子供たちや職員の数名は暑さと病気でつらい思いをしました。そして、今年は暖冬かなと思っていたところ、6 月のイエスのみ心の月になって、Sur (南からの寒気) がやってきました。オガールファティマ乳児院では、暖房設備が十分でないため、時々はずれる天気予報でも頼りにしながら寒さ対策に心がけています。なぜなら、巷ではインフルエンザが流行り、オガールファティマ乳児院の子供たちは免疫

力も弱く集団生活なので、一人が風邪を引くとほぼ全員感染してしまう危険を避けなければならないからです。コンコン咳から始まって、あっという間に気管支炎、肺炎になってしまうので本当に怖いです。早め早めに対応していますが、近年入院治療が必要になるまで悪化する子供がいないのは、イエスのカリタス友の会の皆様の寛大なご支援と祈り、応援のおかげと感謝しています。2023年度も、子供たちに欠かせないおやつと食品支援、及び2名分の職員給与支援を頂き、栄養補給と保育士の温かい手が子供たちに届けられましたこと、あらためて御礼申し上げます。

去る2022年は、政治紛争続きの物騒な年でした。そしてこの2023年は、経済状態が悪化している現状に不安も募りますが、ボリビアの子供たちがいのちの尊さを学び、感謝のうちに愛する心を育み、互いに尊重し関わりを深めながら健全に成長できますように見守っていきたいと思います。これからもご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。慈しみと愛にあふれ、命の泉なるイエスのみ心、イエスのカリタス友の会のすべての方々を祝福し、必要なお恵みをお与えください。皆さまのご健康とご多幸を心より願いながら。

2023年6月4日 三位一体の主日に
ボリビア国 リマの聖女ローザ準管区



オガールファティマ乳児院 ご復活の食事



オガールファティマ乳児院 こどもの日おやつ



オガールファティマ乳児院 洗礼式



オガールファティマ乳児院 洗礼式



カリタス学園
家族の日



オキナワコロニア
青少年の集い



ペルーより



+主の平和

イエスのカリタス友の会の皆様

皆様いかがお過ごしでしょうか。南米ペルー共和国リマ市よりお便りさせていただきます。しばらく続いていた、政府支援団体と反政府団体との衝突による暴動も今は落ち着き、3月から始まった学校も早三か月が過ぎました。

昨年の年度末、教育委員会からのアンケートの中に「コロナ渦に亡くなった保護者や児童がいる家庭に対して、どのような支援がおこなわれていますか？」というものがありました。それを思いめぐらしているうちに、心からの感謝を捧げていたのです。子供を亡くした家庭も、親を失った子供たちもなく、すべての危険災難から守られていたこと、今も守られていることを改めて知ったからでした。今年一人新入生の中に、昨年、新型コロナウイルス感染症で父親を亡くした男の子がいます。大黒柱になって早朝から夜遅くまで働いている母親も、精神的な援助が必要です。心理士のカウンセリングを二人とも受け、また私たち職員、同級生も指導を受けながら、お互いに受け入れあえる環境づくりに努めるようになり、その男の子も仲間に入れるようになってきました。

皆様から送られてきている支援金はこの子をはじめ、家庭の事情で月謝を全額支払うことの出来ない子供たちのための、奨学金として使用させて頂

いています。以前から援助を受けている今年6年生になった女の子の家庭は、8畳一間に家族3人で住んでいます。父親は日雇い労働者で収入が不安定、母親は家政婦として働いていますが、部屋の賃貸料だけで給料の半分以上の出費があります。それでも娘には良い教育を受けさせたいと、年度初めの月謝納入の時に必死に工面し、貯めたありったけのお金を持って来ました。その母親の気持ちに応えてか、低学年の時は消極的だった学習態度が、今は前向きになり成績も上がり、下級生から慕われる、落ち着いたお姉さんとなりました。今年12月、4年ぶりに小学校の卒業式があり、ここで育った子供たちが立派に巣立っていきます。

このように皆様の温かく寛大なお心遣いを受けて、宣教地の子供たちが大きくなり社会に貢献している姿を見ることは、私たちにとって大きな喜びです。改めて支援して下さる皆様お一人おひとりに心からの感謝をお伝えしたいと思います。どうもありがとうございます。父なる神様から皆様とご家族に豊かな祝福がありますように、生徒・職員心を合わせてお祈りさせていただきます。

季節の変わり目の折ご自愛くださいませ。

リマの聖女ローサ準管区
ラ・ビクトリア修道院 アントニオ・カボリ学園
校長 シスターヨハンナ林恵



聖週間



聖母行列



南スーダンより



カリタス友の会の皆様へ

神様の祝福がいつも皆様の上にありますように!!

いつも温かい支援をしてくださる皆様に、心から感謝いたします。

南スーダンの報告をさせていただきます。復活祭のころスーダンで内戦が始まり、多くの方々が南スーダンは大丈夫ですかと心配してくださっていたと伺いました。ありがとうございます。

南スーダンは 2011 年にスーダン国から独立したので、直接の影響はこちらではありませんでしたが、南スーダンからスーダンへ安定を求めて住んでいた人々が、南スーダンへ戻らざるをえず、戻っても住む場所がなく国内難民生活へと逆戻りしている状況です。

南スーダンでは、継続的に経済が悪くなるばかりで、食料、薬、物はあっても物価の上昇で買うことができない人々が続出しています。その支援を私たちはしていますが、特に診療所は昨年よりも、もっと患者が来ています。カリタス診療所では、買った薬にほんの少しの値段を足しての提供としています。難民の方には無料診療しているので遠い場所からもきています。他の診療所では、薬、診療代が高すぎて利用できないためです。お金を払わなければ、診療してもらえず薬ももらうことができないので、交通費を使ってわざわざ遠いところからでも患

者が来ています。ここでは、新型コロナウイルス感染症で亡くなる人はほぼいませんでしたが、毎年、マラリア、腸チフス、肝炎などの病気でたくさんの人が命を落としているのが現状です。

私たちの子供センターでは、昨年のように毎日の給食を提供できなくなりました。物の値段が高騰したからです。それでも、何かしらのものを毎日食べさせるようにしています。12 年前私たちがここに来て植えたマンゴー、グアヴァが季節になるとたくさん実るので、それを子供たちとスタッフに提供し、お金を節約して栄養のある、ミルク、ビスケットのほか、週に一度ドーナツのようなものを作って、子供たちに食べさせています。大家族の家庭が多く、子供センターに来たときだけお腹を満たすことができる、という子供がほとんどですから、皆楽しみに通って来ています。

皆様からの支援金は、このように南スーダンの人々のため大切に使用させていただいています。本当に皆様の助けなしには何もできない状況ですが、少しずつでも自立していくことができるような司牧をしたいと考えています。日本もまだコロナの影響で仕事を失ったり、食事をするのでできない子供たちがいると聞いています。そんな中で、遠いアフリカの国にも支援して下さることに心よりお礼申し上げます。

南スーダン共和国 ジュバ修道院一同



週一度先生たちとドーナツを作り

クラス毎に分けて給食の準備をします



チルドレンセンター

子どもたちにアルファベットを教えています



塗り絵をしました



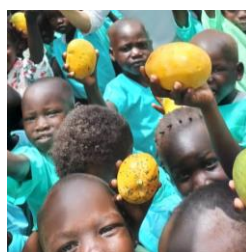
診療所 薬をお渡ししています



ケレピの幼稚園 子どもたち



炭作り



お庭のマンゴーを収穫して
みんなで食べました



さつま芋の苗植え



ケレピの小学校 子どもたちとともに



ウガンダ



ウガンダの共同体



フィリピンより



皆様いかがお過ごしでしょうか。

カリタス・ドンボスコスクールは来年の2024年に30周年を迎えようとしています。25周年の前にはタール火山の噴火があり、状況が落ち着いたかと思う間もなくコロナ禍でロックダウンが始まり、毎日不安を抱えながらこの託された宣教の場で現地の人と手を取り合って支え合いながら過ごしておりました。そして皆様のお祈りとご支援のおかげでこの困難を乗り越えることができました。心より感謝いたします。

2023年度本校は7月から通常の完全対面での新学年度が始まります。しかしコロナ禍のオンラインやブレンド型の授業形態は生徒達の学業面だけでなく精神面に大きな影響を与えているのは周知の通りで、この3年にため込んだ様々な困難と問題を乗り越えていくよう教職員一同計画を練っているところです。しかし、実は必要な教職員も設備もまだまだ揃っていない状態です。

これまでもいろんな苦難や困難な状況にあっても、神様はいつも私たちに必要な助けを与えてくださいましたので、希望をもって前に進んでいきます。実際卒業生たちが社会人として活躍し、母校への協力、支援にも携わってくれるようになりました。心強い限りです。大変だとしばしば言葉にしていまいがちですが、「大変」の言葉は大きな変化という意味でもあるそうです。私たちはこの大変な時期を大きく変われるチャンスとして受け止めたいと思います。どうぞ私たちがこの困難を転機に変えていくことが出来るようにお祈りとご支援をよろしくお願いします。

皆さまの変わりない継続的な温かいご支援に感謝して。

フィリピン サンタローザ修道院
カリタス・ドンボスコスクール教職員一同



校庭の草植え



校庭の草植え



中学校校舎屋根付き通路の新設



卒業生とともに

イエスのカリタス友の会 会計報告
2022年4月1日～2023年3月31日

《収入の部》

(単位：円)

科目	金額	備考
寄付金収入	7,064,882	
一般からの寄付金	6,238,312	
CDによる寄付金	826,570	
荷物送料	0	
その他の収入	1,319,312	
バザーによる収入	866,118	
雑収入 (切手売り上げ、書き損じはがき、 EM石けん、ケーキ代他)	453,194	
当期収入合計	8,384,194	
前期繰越金	3,062,790	
収入の部合計	11,446,984	

《支出の部》

(単位：円)

科目	金額	備考
宣教活動支援費	8,446,990	
イエスのカリタス会 日本管区 (ベトナム)	500,000	家庭内幼稚園開始のための設備費
イエスのカリタス会 ブラジル準管区	2,500,000	カリタス学園サンマテウス校奨学金援助
イエスのカリタス会 ボリビア	2,706,190	オガール職員給与(2名分)・食費支援 2,500,000 指定献金 206,190
イエスのカリタス会 ペルー	200,000	指定献金
イエスのカリタス会 南スーダン	2,540,800	食糧支援 1,513,479 指定献金 1,027,321
運営費支出	326,141	
荷物送料	0	
友の会便りの印刷	213,400	イエスのカリタス友の会だより 2回分
通信費	88,979	友の会だより送料 2回分、切手、レターパック代
消耗品費	18,610	友の会だより用封筒代、バザー用ケーキ袋
手数料	152	振り込み手数料
その他	5,000	バザー協力金(下井草教会)
当期支出合計	8,773,131	
次期繰越金	2,673,853	
支出の部合計	11,446,984	

お知らせと感謝



心からの感謝を込めて
イエスのカリタス友の会の皆様、イエスのカリタス友の会のために、ご協力頂き、心より感謝を申し上げます。今年3月の末をもちまして、コーディネーターの私・シスター峯と事務局スタッフの山田博子さんが退任いたしました。

私は7年半イエスのカリタス友の会の活動に関わらせて頂き、会員の皆様、支援者の皆様、またスモールクワイアの活動やCDを通して、皆様の暖かい心、特に貧しい方々や困窮している方々を思うお心に触れ、多くのご協力・心遣いを頂きましたことを心より感謝いたします。

山田さんは友の会の設立時の初代会長、そして事務局スタッフとして21年間という長い年月、友の会のために献身して下さいました。また、友の会の支援が不足している時には、スタッフでもあった「ドン・ボスコ基金」に、掛け合って支援をお願いして頂くなど精力的にご奉仕くださいました。山田博子さんの長い間のご奉仕にこの紙面をお借りして心より感謝いたします。今後も、イエスのカリタス友のために祈りと協力が続けて行きたいと願っております。

本当にありがとうございました。

シスター峯 妙子



心あたたまる支援

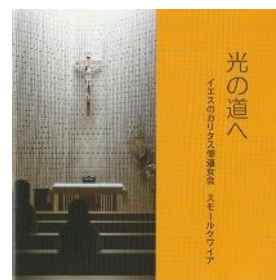


3月末、S幼稚園を卒園された、おねひろくんが、お小遣いを貯めて、海外支援のため、イエスのカリタス友の会に寄付をしてくださいました。おねひろくんからの温かな心を、海外で困難な状況にある方々のために、大切にお届けいたします。ありがとうございました。



スモールクワイアのCD

ご案内



使用済み切手整理



まだ、新型コロナウイルス感染症の心配もある中ですが、2023年に入り4回（2月・3月・4月・6月）切手整理を行いました。

多くの方々のお陰で、6月末に業者に送ることができました。

使用済み切手を送っていただきました皆様、整理にご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

日本切手	19,405 g	15,524 円
外国切手	165 g	330 円
外国コイン	1,955 g	1,955 円
合計		17,809 円



使用済み、未使用切手・書き損じはがき・外国コインの支援者

2022年12月11日～2023年6月20日（敬称略・順不同）

酒井 健一	橋爪 史孝	立松 美也子	濱田 裕子	椎原 伊三男・園美
磯野 美和	石山 ゆり子	緒方 みゆき	斉藤 禎子	杉山 憲次・尚子
林 ヤヨイ	小川 祐子	渡邊 以文	渋谷 琢磨	ディアッコ 亜紀
河野 由美	山田 良	山田 裕子	淵上 空	堤 俊・久代
長谷川 早苗	岡部 雅子	日高 柳子	石井 房枝	矢内 和三・潤子
小川 寛子	中谷 淳子	池田 寿美子	岩田 貴子	広田 三枝子
根本 左穂子	蜂谷 夕香子	曾根田 秀子	川口 栄子	石井 多香子
嶺 英樹	山田 洋子	瀬古 典子	久野 メリ子	武井 ちね子
末武 恭江	谷川 京子	曾我 千瑳子	片山 久美子	藤原 康子
林 哲子	佐伯 千寿子	三宅 夏音	三宅 映子	カリタス南三陸
須田 加矢子	西田 栄子	村橋 美咲	藤島 史子	門司藤松郵便局
岩田 淳子	室井 えみ子	山口 祥世	庄司 昌子	めぐみの聖母保育園
出口 登代美	豊田 久子	山村 恵	堀 清子	北杜ライオンズクラブ
成内 祐介	福島 美香	阿部 芙美子	杉谷 浩子	笠利聖母保育園
山縣 久美子	中根 恵子	関根 由利子	鈴木 弘子	宮崎つぼみの寮
小百合の寮	岡田 琢	近藤 幸恵	新堂 ヒロ子	ケアプランガラシア
竹の寮	藤井寺修道院	宮崎修道院	三原修道院	図書館問題研究会
高橋宅建一級建築工事事務所		横浜ひかりライオンズクラブ		波島ドンボスコ保育園
小田原松風ライオンズクラブ		軽費老人ホームときわ荘		カトリック谷山教会
福岡地区カトリック女性の会		都城聖ドミニコ学園幼稚園		カトリック松本教会
日本キャタピラー合同会社		カトリック・カリタス幼稚園		井萩第2修道院
サレジオ小学校環境委員会	鳥海寮	共和食品株式会社本社工場		管区本部修道院
上智大学カトリックイエズス会センター				
聖マリア病院チャプレン室	山本啓子			

目黒星美学園中学高等学校生徒会

活動報告 バザー

5月7日（日）カリタス会管区本部にて、バザーを開催することができました。前々からその日は雨の予報で、とても心配しながらの準備でしたが、早めに室内での開催を決定いたしました。そのような中でも多くの方々にご来場いただき、賑やかなひと時を持つことができました。皆様の温かいご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



5月7日 カリタス会管区本部において



バザー協力者

2022年12月11日～2023年6月20日（敬称略・順不同）

- | | | | | |
|----------------|---------|--------|--------|---------|
| 町田 房子 | 坂本 順子 | 松本 啓子 | 松本 保子 | 末武 恭江 |
| 佐藤 操子 | 岩田 良之 | 岩田 貴子 | 武井 ちね子 | 池田 寿美子 |
| 石井 房枝 | 武田 功・和子 | 曾我 千瑳子 | 木村 正子 | 佐藤 七津美 |
| 山縣 久美子 | 藤原 康子 | 谷川 京子 | 小坂 京子 | 竹内 紀美代 |
| 片山 久美子 | 濱田 裕子 | 花田 喜子 | 小川 寛子 | 関根 由利子 |
| 後藤 緑 | 岩田 純子 | 大平 智子 | 中谷 淳子 | 近藤 幸恵 |
| 広田 三枝子 | 石井 多香子 | 三宅 映子 | 宮脇 敬子 | 潜竜修道院 |
| 井荻第2修道院 | 東京修学志願院 | 藤井寺修道院 | 東京修練院 | 管区本部修道院 |
| カトリック下井草教会手芸の会 | | | | |

寄付支援者

2022年12月11日～2023年6月20日（敬称略・順不同）

佐藤 安英	緒方 みゆき	田中 睦子	森宮 孝子	高田 玲依 晁太朗
武田 美穂	常清 操子	副島 ますみ	松田 美智子	豊島 究・あんづ
福島 功	永田 典子	田垣 裕子	武藤 浩子	西山 浩・クニ子
谷川 京子	谷山 博子	高橋 由美子	谷口 八重子	山邊 裕一・加美恵
佐々木 裕子	和田里 眞弓	阿南 ゆかり	真島 颯子	本村 哲也・久代
松田 宏紀	大野 正樹	桂 セツ子	中平 籠子	杉山 憲次・尚子
中村 妙子	中西 久	目羅 美和子	曾我 千瑛子	松堂 敦夫・恵子
岩田 貴子	A. U.	椎橋 玲子	福島 美香	中曾根 正和・千恵子
藤原 康子	久保 瑞穂	戸澤 陽子	枝 孝子	高田 喜久雄・不二子
林 浩美	吉雄 直子	寺園 桃子	吉川 宗芳	ディアック 亜紀
国吉 光	赤澤 進	内田 健志	谷口 初男	田畑 浩隆・美智子
明澤 文子	高平 淑子	庄司 昌子	後藤 緑	観世 静子・和歌
池田 寿美子	川崎 麻美	森 一	松本 尚也	峯 重昭・美智代
関口 英子	関根 由利子	林 ヤヨイ	洞口 優子	圓谷 能一・益代・宗弘
堤 俊	鍋内 初恵	福島 寛子	増田 百合	金泉 松男・牧恵
出口 登代美	八木下 泰博	山田 幸子	鳴海 京子	根本 左穂子
吉川 寛幸	明石 嘉浩	久高 武	谷口 ひろこ	片山 久美子
名倉 厚子	小西 由美子	古森 郁代	刑部 敏子	喜多 寿子
堀田 修平	牧田 みどり	葛島 よね子	橋爪 史孝	和田 圭一郎
天満 まゆみ	藤嶋 史子	池間 初子	野木 芳枝	藤沼 淑子
矢吹 文江	曾根田 秀子	後藤 杏子	井上 進二	若松 庸子
野中 貞子	森岡 多恵子	吉田 博	仲村 トミ子	中村 清子
倉田 昌子	摂津 順子	兼田 純子	橋本 晴子	松本 はな
滝口 京子	村中 文江	松山 篤則	中澤 かつ子	松本 保子
安田 くみえ	新堂 ヒロ子	小林 一	本田 良子	小野寺 多恵子
今村 香代	笠間 恵美子	柿沼 志津子	飯沼 武	片山 久美子
七澤 順一	神保 朱美	中村 典子	仲田 敏子	生沼 美津代
唐木 武志	溝井 光子	徳 美保子	蜂谷 夕香子	横関 裕美
眞下 幸恵	古川 勝	大河内 典子	小松 多佳子	小柴 万侑
村田 洋子	原 恵美子	石黒 智泰	三宅 映子	松田 千香子
中田 澄江	吉田 有美	白石 周子	宮嶋 由美	山縣 久美子
長山 好子	雪野 秀子	イワモトタケシ	宮澤 伸子	横浜雙葉小学校
三國 亜紀	中野 敦子	橘 りつ	泉 テル子	清泉小学校 堂平房江
山里 文子	斉藤 矩里子	松井 由美子	山田 裕子	カトリック関口教会
橋田 尚美	櫻田 華純	里 美千代	永田 和歌子	カトリック山手教会
金井 ヤス子	橋本 和子	植木 次郎	鈴木 裕子	カトリック松本教会
菊池 茂樹	市川 みはる	八島 厚子		カトリック下井草教会
花田 静香	辻 美百合	船橋 良子	和井内 玲子	カトリック三原教会
藤倉 和歌子	今井 貴子	村田 昌子	古澤 佳代子	カトリック碑文谷教会
藤村 真由美	山下 越子	早坂 菊子	池田 あけみ	カトリック調布教会

野のゆり会 紅葉寮
カトリック調布教会聖歌隊
聖霊女子短期大学付属高等学校
カトリック文化センター 崎山
カトリック・カリタス幼稚園
カトリック・カリタス幼稚園日曜学校
都城聖ドミニコ学園幼稚園
都城聖ドミニコ学園高等学校 R4 生徒会
サレジオ高専 2020 年度 5ME

聖ヨゼフ寮 東京修練院
ノートルダム女学院中学高等学校
金沢独立キリスト教会
カトリック・カルメル会
藤井寺カトリック幼稚園
カトリック聖クララ幼稚園
カトリック鍛冶ヶ谷教会
めぐみの聖母保育園
管区本部修道院

横須賀大津教会
笠利聖母保育園
井萩聖母幼稚園
ヨゼフ幼稚園・石川
聖心保育園・三原
ドンボスコ保育園・松本
愛野修道院
宮崎修学志願院

匿名希望の方も含め、多くの方々にご協力を賜りました。
心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

入会者（敬称略）

久保 瑞穂 ・ 村中文江 ・ 田畑 浩隆 ・ 田畑 美智子
鈴木 裕子 ・ 田中睦子 ・ 福島寛子 ・ 矢吹 文江

毎月10日には、イエスのカリタス友の会の会員のためのごミサ（お祈り）が、
イエスのカリタス修道女会管区本部修道院聖堂において捧げられています。
どうぞ心を合わせてお祈りください。

イエスのカリタス友の会入会案内

イエスのカリタス友の会は、イエスのカリタス修道女会が行う活動を、
財政的に支援する事を目的とするボランティアグループです。

会員の活動

任意の時期に、任意の金額を友の会に寄付します。
（入会費・年会費はありません）
可能であれば、バザー、使用済み切手の収集・整理、
その他の活動に参加、協力します。

入会について

入会ご希望の方は、住所・氏名（ふりがな）・電話
番号を TEL・FAX・メールのいずれかの方法で事務
局にお知らせください。入会希望を受けて、「イエ
スのカリタス友の会の規約」をお送りいたします。

個人情報について

入会時に受け付けた個人情報は、友の会事務局にて
慎重に管理されます。同会会員に対しても公開は控
えさせていただいておりますので、ご了承ください。
尚、ご寄付・バザーの物品提供・使用済み切手の収集
等にご協力いただいた際には、次回発行される「イエ
スのカリタス友の会だより」にお名前のみ掲載させ
ていただいております。匿名希望の方は、その旨をお
知らせください。

友の会会員のために

毎月10日にミサを捧げ、ご支援くださる方への感
謝と報告を兼ねて、年2回「イエスのカリタス友の
会だより」をお送りしています。イエスのカリタス
友の会の趣旨をご理解くださり、賛同してくださる
方は事務局までご連絡ください。

（最終ページにあります）

会員の資格

5年以上連絡がない場合、会員の資格は消失いたしま
すのでご了承ください。





事務局からの声

月日の流れを早く感じるのは、私だけでしょうか。一日一日がアツと言う間に消えて行く様に感じます。友の会員の皆様様そして、いつもご協力下さいます皆様のご支援に厚く御礼を申し上げます。今回は、事務局の一人のメンバーの話をさせていただきます。友の会設立当初から事務局活動の大きな働き手として、長い間公私に渡り尽力をされた Y さんが、体調を少し崩され活動から離れる事となりました。とても、とても残念な事なのですが、Y さんが一日でも早く元気を取り戻して頂くには、休息することが大切ですので、他のメンバーは残念に思いながらも快く受けとめました。改めまして、病の内にある皆様の回復を思い、祈って参りたいと思います。(Y.M.)

Covid-19 の終息が見えないまま元の生活に戻ろうとしています。私も 6 回目のワクチン接種を済ませた次は、帯状疱疹のワクチンが控えています。乳幼児期に戻ったような、高齢者です。このような状況のなか、5 月に修道院のご厚意で友の会のバザーをすることができました。雨模様でしたがご近所の方が大勢おみえになり、シスター方の力強い援助もあって感謝のうちに終えることができました。(Y.F.)

カリタス広場で開催される予定だったバザーが雨の為、修道院内で行われる事になりました。修道院に向かう途中、マスクをしてもお庭からバラの香りが素晴らしく、思わず足を止めてしまいました。コロナがようやく落ち着き、徐々にマスクを外す人も増えてきました。最近知り合いになった友人は「こんなに美人だったのね」と話し、古い友人とは「3年の間にお互いシワが増えたわね」と笑い、賑やかにあちらこちらから会話の音が聞こえます。街も賑やかになり、どうぞこのまま平和が続きますように、そして世界各地で今も続く戦争や自然災害で苦しんでいる方々にも笑顔が戻りますように、お祈りいたします。(K.Y.)

運動が苦手のわたしも、ウォーキングを日課にし、公園や、住宅街の庭先のお花を楽しませて貰います。今年は春の訪れも早く、ロウバイ、梅などに続き、大木のこぶしや桜の花芽が日ごと膨らむのを心待ちにし、よく空を見上げました。そんな時ふと、「どうして天を見上げて立っているのか」の言葉が頭に浮かびました。確かに聖書の一節は、必ずなのに思いだせません……。ご昇天の場面と教えて貰ったときは、まるで使徒たちと共にその場に立ったかのように味わい、わたしにも呼びかけてくださる声に聞こえました。姿は雲に覆われて見えなくなってしまうけれど、また同じありさまでおいでになり、「いつもあなた方と共にいる」と約束してくださる神様。世界中に、また近くにも、さまざまな状況から困難の中にいる方々を忘れず、そっと呼びかけてくださる神の声に耳を傾け、心を合わせてお祈りします。(K.K.)

朝早く風によって飯田橋の電車の音。日中は道を隔てた所の小学校の子ども達の歓声が8階の病室まで聞こえる。昨年に続いて左股関節の手術。とうとう両脚とも人工骨頭になった。厳しいリハビリも終了。帰宅したらゆっくり寝たいと思っていたのに、頭はまだ病院の回路。今回は辛かった、泣きたかった。祈って下さったお陰で何とか乗り越える事ができました。入院の日に手伝ってくれた娘が「病院からカテドラルまで歩いて祈ってきたわよ～」とメールがきた。嬉しかった！これで入院、手術は終わりにしたい。歳を重ねるとはこういうことなのかな？三位一体の主日、下井草教会は堅信式。菊地大司教様のお説教に自らの務めを果たそうとするその思いを後ろから吹き付ける聖霊の息吹が後押しして下さいます。身を任せましょう。風が何処から、何処へ吹くのか、私たちは誰も知りません。私が少しでも何か出来る事があるなら、身を委ね、後押ししてくれる方向へと、勇気を持って踏み出したい。(T.I.)



イエスのカリタス友の会の活動、切手整理の日のご連絡、スモールクワイアのお知らせなどがイエスのカリタス修道女会のホームページでもご覧になれます。海外や日本で働くシスターたちの宣教活動、CDのお申し込み方法なども載せてありますので、ぜひご利用ください。<http://www.m-caritas.jp>

寄付金受入れ口座

加入者名 イエスのカリタス友の会

郵便振替口座 00160-2-564970



発行 イエスのカリタス友の会

〒167-0021 東京都杉並区井草 4-20-5

TEL: 03-3396-2171 FAX: 03-3396-2150

e-mail: tomonokai@m-caritas.jp

代表 山縣久美子 事務局長 片山久美子